

会議等名	平成23年度 第2回 海老名市総合計画審議会
日時	平成23年12月1日(木) 15:00~17:00
場所	海老名市役所 3F 政策審議室
出席者	委員：鈴木委員、市川委員、西田委員、戸澤委員、佐々木委員、濱田委員、森川委員、森田聡委員、内野委員、木村委員、菅谷委員、三部委員、杉山委員、(欠席 今井委員、今別府委員) 事務局：市長室長 清水 昭、市長室次長兼政策経営課長 二見 正樹、政策経営課企画政策係長兼行政経営係長 告原 幸治、政策経営課企画政策係主査 三輪 徹、政策経営課企画政策係主事 西尾 夕香 傍聴者：なし
概要：	<p>1 開会（事務局）</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会選出の新委員5名へ交付。 <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会長は推薦の声あり、互選により鈴木守委員を選出。 <p>5 新会長あいさつ（鈴木守会長）</p> <p>6 議題</p> <p>(1) 海老名市第四次総合計画の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海老名市第四次総合計画の進捗状況について（資料） ・ 海老名市第四次総合計画（冊子） ・ 資料に基づき、海老名市第四次総合計画の進捗状況について、事務局説明 <p>《意見・質疑等》</p> <p>(委員)「健康増進の指導」の事業の中で、飲食店組合への訪問指導とあるが、自営業などの自殺の事例はあるのか。</p> <p>→ 自殺の防止ではなく、健康維持が目的。飲食店経営者などは健康診断に行く時間が無いという声がある中、訪問して指導を行う方策を取らせていただいた。(事務局)</p> <p>(委員)「社会福祉協議会における地区社協の設立支援」の事業について、地区社協の設置が具体的になっている地区はあるのか。</p> <p>→ 中野及び下今泉地区にて設置に向けて調整が進められ、研修会等を行っており調整が整えば設置することとなる。(事務局)</p> <p>(委員)「えびな市民まつり」について、今年度は会場を変更し、運動公園での開催となったが、実施後に評価・検証はしているのか。例えばシャトルバスについて、まつりの参加者数を想定して運行したのか、近隣の混雑状況から交通対策などの検証がされれば次回に繋がる。</p> <p>→ シャトルバスについては、かなりのご意見を頂いている。初めて運動公園で開催し</p>

たので、予想しきれない部分があった。市民まつりについては、全庁挙げての取り組みであり、各部毎に仕事を分担して実施した。担当所管である市民協働部にて各部からの問題点や反省点等を聴取し、今後に活かすよう対応している。市政施行 40 周年ということもあり、運動公園にて実施した。今後の開催場所についてはまだ決定していないが、運動公園で実施する場合には、今回の反省を踏まえて実施する。(事務局)

(委員)「地域づくり」という事業はどのような事業か。

→ 自治会が何らかの事業をする際に補助するものであり、事務用品の購入や、イベントの開催費等に充てられている。(事務局)

(委員)「都市間交流の推進」について、登別市と姉妹都市として提携することは検討されているのか。

→ 現在、海老名市と登別市とは、白石市を介しての間柄であり、行政や市民が交流を深めていく中で機運が高まれば姉妹都市となることもあり得るのではないかと考えている。まずは交流を深めていくということでトライアングル交流宣言を行った。

(委員)「子育て短期支援事業」については、“ニーズがなく事業廃止”となっているが、実績はゼロなのか。

→ 平成 20 年度と平成 21 年度の利用児童は 2 人であったが、事業の対象年齢が 2 歳から 6 歳までであり、平成 22 年には対象児童が小学生となったことで、本事業の対象外となった。以後、平成 22 年度及び平成 23 年度において対象児童がないのが現状である。三市共同での委託事業であり、海老名市以外の厚木市及び座間市においても、対象児童がないため、ニーズがなく事業廃止となった。今後は、児童相談所の里親制度などを活用しながら対応していく。(事務局)

(委員)「野外教育施設の充実」について、富士ふれあいの森については、今後何年かで打ち切るとの話も聞いたが継続することなのか。

→ 廃止も含め検討を進めている状況であるが、結論はまだ出ていない。(事務局)

(委員)「奨学金の給付」について、対象は高校生以上か。

→ 奨学金制度の対象は高校生である。(事務局)

→ 今後も増えると考えてよいか。(委員)

→ 社会情勢の影響を受けて増えていると考えられるため、今後減る可能性は低いのではないかと思う。(事務局)

(委員)「放課後子どもプラン」「海老名あそびっ子クラブ」について、放課後の小学校で遊び場を提供するとのことだが、上今泉コミュニティセンターでは、夕方に小学生が大勢集まり、騒がしい。コミュニティセンターでも遊びの場を提供しているということか。

→ 以前は児童館があったが、コミュニティセンターを建設する際に児童館の機能もコミュニティセンターに取り入れることとして建設した。このため、児童館は廃止した。子どもからお年寄りまで各世代の皆様が地域の中で使っていただきたい。利用者で協力しながら使ってほしい。(事務局)

→ 海老名あそびっ子プランについては、参加する子どもは事前に保護者の了解を得ての参加となり、強制ではない。学童保育もあり、それらへ参加しない子どもがコミセン等へ行くのだろう。(委員)

(委員)「小学校施設の整備」及び「中学校施設の整備」について、校舎は耐震化が済んでいたかと思うが、体育館については如何か。

→ 第四次総合計画以前の平成 19 年度までに全ての小中学校の校舎及び体育館について耐震化されている。(事務局)

→ 校舎等のリニューアルについては第四次総合計画の中では盛り込まれていないのか。(委員)

→ 経年劣化に伴う改修についても「小学校施設の整備」及び「中学校施設の整備」に盛り込まれていると考えていただきたい。(事務局)

(委員)「学校給食における食育の推進」について、放射線の検査方法や結果等がわかり次第公開してほしい。

→ 本来は国の役割であると 5 月頃から市長会等を通じて要望を続けてきたが、住民の安全安心を確保するため、海老名市では 6 月から検討を始め、7 月から消防の緊急援助隊に国から貸与された簡易な測定器を使い空間放射線量率の測定を始めた。8 月からは高精度な測定器を購入し測定した。10 月に入り、雨どいの下など局所的な部分の測定も行った。必要な対応は取っており、これまでの空間放射線量率の測定結果等は全てホームページで公開し、各コミュニティセンターにも結果を配架し、市民に知らせている。11 月に入り、学校及び保育園の給食について、提供した食材を一週間分まとめて検査し、異常な数値が検出された場合には公表するという事でホームページ及びコミセンに周知文書を配架している。今のところ検査結果は健康に直ちに影響がある数値は出ていないということで、保護者へは個別に手紙を出して対応している。(事務局)

(委員)「中部地区公園整備の検討」が“未着手”となっているがなぜ未着手となっているのか。

→ 地区公園となると北部公園のように相当規模の公園となる。中部と南部の構想はあるが、財政状況も厳しい中、検討の着手にも入れていないのが現状である。また、公園の再整備計画を検討しており、既存の公園を含め、公園のあり方を検討しており、実態として、中部地区公園については検討に着手できていない状況である。(事務局)

(委員)「高等教育機関の誘致」について、現在、反応のある高等教育機関はあるのか。

→ 実現に向けた相談の段階には入っていない。(事務局)

(委員)道路がかなり拡幅されてきており、自転車専用レーンもできているが、2 車線道路で大型車両が並んで止まってしまい、1 車線となってしまう状況がある。警察と連携し、定期的に取り締りし、排除することはできないか。

→ 議会の一般質問でも出ており、警察と連携して取締りを強化する回答をしているが、現実にはなかなか進まないのが現状である。(事務局)

(委員)「ごみ等収集体制の充実」について、国分寺台 4 丁目・5 丁目にて個別収集実験を始めたとのことだが、今後、全市的に取り組んでいくのか。

→ 現在は実験として海老名市の国分寺台 4 丁目・5 丁目のみで行っている段階であり、現段階ですぐに全市で行っていくという状況ではない。ごみの収集については、綾瀬市、座間市、海老名市の 3 市で運営している高座清掃施設組合にて実施しているため、3 市で連携し、歩調を合わせて進めていきたい。また、個別収集については、ごみの有料化と併せて進めている事例が多い。海老名で実験した効果を検証していく中で、十分

見極め取り組んでいきたい。(事務局)

(委員)「有機性廃棄物の循環利用」の事業について、剪定枝資源化についてモデル地区で実施予定となっているが、目的は何か。

→ ごみの中でも剪定枝は大きなものの1つであり、収集の際にも焼却の際にも問題となっている。対策については、研究を進めているところだが、平成24年度からモデル地区で実施となっているが、地区が具体的になっているわけでもモデル地区で実施することが決まっているわけでもない。(事務局)

(委員)「緑の創造」の中で横須賀水道路について、整備済とあるが、未整備区間の大谷地区についてはいつ頃整備されるのか。

→ 標記の仕方に問題があり申し訳ないが、一部区間について用地の取得及び整備が終了している状況である。大谷地区(厚木ナイロンから東名高速道路部分まで)については、後期基本計画の中で位置付けていく予定となっている。(事務局)

(委員)「防犯灯の再整備」に関連し、さつき町から総合病院・介護老人保健施設アゼリアに向かう小田急線高架下の斜めの道については、防犯灯が1基もないが、理由があるのか。

→ 道路を整備する中、防犯灯の設置については地域との話し合いの中で取り決めたと聞いている。また、周辺には農地があり、農地周辺では防犯灯の明かりが農作物に影響を及ぼすとのことで、農地所有者から困る旨の申出をされるケースも多くあるため、農地の影響も考慮した結果とも想定される。防犯灯の設置については、地域からの要望があればその都度対応している。(事務局)

(委員)「商店街の元気復活」について、さくら並木商店街のトレードマークである桜を伐採してしまうことは、商店街を活性化するために必要なのか。また、座間市でも桜の伐採が行われているが、関連性を知りたい。

→ 座間市では桜の倒木が車にぶつかる事故があったという経過から、伐採を始めたと聞いている。海老名市については、60年程度経過している桜もあり、桜の寿命が50～60年であることから、診断の結果、危険であるとの判断で逐次、伐採した。また、木が電線に掛かり危険であるということと、毛虫の問題もあった。さくら並木の道路幅は狭く駐車場も無いため、歩道や駐車場を再整備する際に再度、木は植えていく予定である。基本的には、木の寿命とまちの再整備のために伐採している。(事務局)

(委員)「地域営農活動の促進」の中に“農用地区域拡大に向けた作業を開始”とあるが、国からの指示があって開始したのか。

→ 海老名市は、県下でも農用地が少ないため、国から指摘は受けていることはある。今回の事業は、市の魅力である農地をしっかりと保全するために実施しているものである。

(委員)震災や長引く不況の影響で、税収入が減少していると思われるが、予算的に厳しい中で、財源が心配である。計画の進捗を止めるものがあれば、ある程度、説明があるほうが良かった。

→ 税収入が全国的にも厳しい中で、海老名市は県内で随一の健全財政を誇っている。県下で市債が最も少ない状況の中で、後世にとって必要な事業であれば、市債による事

業を展開する事やまちづくり基金などを財源に補填することも可能である。現在、国の社会資本整備総合交付金制度を可能な限り活用し、事業を展開しているところである。海老名市は、まちづくり真っ只中であり、この流れを止めるわけには行かない。海老名駅西口開発なども控えている中、国・県の交付金や助成金など、ありとあらゆる財源確保に向けた方策を考えながら、事業を進めている。

(委員) 今の段階では、財源不足により事業を止めるような予定は無いということか。

→ 現在のところ、事業を大きく止めることは考えていない。(事務局)

(委員) 全体の見込みとして、後期計画にどれ位のずれ込みがあるのか、例えば、前期計画では 80%達成できたが、残り 20%は後期計画に先送りするなどといった部分が無いので、進捗状況の説明だけだとわかりづらい。総合計画の全体的な流れの中で、予算と進捗状況の説明もあったほうが良かったと思う。

→ 財源との比較が示されていないことは、ご指摘として受け止めさせていただきたい。大きな事業の中止はないが、単年度ごとには、社会情勢などにより事業の優先順位を考慮し、前倒しする事業や先送りする事業については、実施計画を見直しする中で整理している。進捗状況を整理している中では、全体的に概ね計画どおり進んでいるものと考えている。(事務局)

(委員) 進捗状況の説明について、事業が予定どおり終わったということで結構だと思うが、今後、予算の問題も考慮するのであれば、どの程度、緊縮財政を心がけて、良好な事業を実施したのかというような目的と成果などの記述もあったほうが良かった。事業の特記事項や要点などについても、審議会の場で挙げていただけると、市民のためなのか無駄な事業なのかわかり易いので、特出すべきところを挙げていただけると良かった。(要望)

(委員) 「収納率の向上対策」とあるが、収納率は数字で出るのか。

→ 収納率とは、一般的に課税額に対してどの程度納税されたかをパーセントで公表している。極力、数字的なものも示さないとう理解しづらいので、今後、見やすい資料を作るように心がけたい。(事務局)

7 閉 会

以 上